

主題：ヨベル

メッセージ 8

ヨベルの時期、ヨベルのしるし、ヨベルの生活、ヨベルの享受と増殖

聖書：ルカ 4:18-21. 12:32, 37. 13:29. 14:15. 22:1-22, 29-30

I. 新約のヨベルは三つの時期から成ります。第一に、現在の時代、恵みの時代におけるヨベル、第二に、来たるべき時代、王国の時代におけるヨベル、第三に、永遠における、新しい天と新しい地におけるヨベルです——ルカ 4:18-21. 12:37. 14:15. 啓 21:1-2 :

A. わたしたちは、今日のヨベルが救いの事柄であること、来たるべき時代におけるヨベルが褒賞の事柄であること、新しい天と新しい地での永遠におけるヨベルが神の完全な救いの完全な味わいとなることを、見る必要があります——ルカ 19:9. 12:32. 14:15. 啓 21:1-2。

B. 神の招きを受けて、彼がわたしたちのために備えたものを受け入れるすべての者は、この時代に新約のヨベルにあずかり、キリストを享受する立場を得ます。来たるべき時代にヨベルの褒賞を受けるために、わたしたちはこの時代に忠信にキリストを享受する必要があります——ルカ 14:16-24 :

1. 王国は、キリストを忠信に享受する者に対する、来たるべき時代における褒賞であり、その褒賞はまたヨベルとなります—— 12:32, 37。

2. 今日、神の救いにおいて、わたしたちはキリストを享受する権利、ヨベルを享受する権利を持ちます—— 15:22-23。

3. 正常に忠信に、わたしたちは神の御子を享受する必要があります。彼は命を与える霊としての、すべてを含むキリストです——コロサイ 1:13. 2:9. I コリント 15:45 後半 :

a. キリストを忠信に享受することは、わたしたちを資格づけて、来たるべき時代に王国に入らせ、そこで褒賞としてのより完全なヨベルを享受させます——マタイ 25:21, 23. ルカ 12:42-48. 13:29。

b. 王国においてより完全なヨベルの褒賞を受けることは、ある条件を満たすことを必要とします。その条件とは、わたしたちが忠信に継続的に、今日キリストを享受することです——ピリピ 1:18. 3:1. 4:4。

4. 毎日わたしたちは忠信に訓練して、自分自身をキリストの享受の中に保つべきです。この享受はまたわたしたちを資格づけて、来たるべき王国に入させます。それは、主の忠信な者たちに対する褒賞としての、より完全なヨベルです——ルカ 13:29. 14:15. 22:29-30. 啓 2:7, 17. 3:20-21。

II. 主の食卓はヨベルのしるしであり、わたしたちを束縛から自由にし、三一の神の享受の中にもたらしめます——ルカ 4:18-21. 15:22-23. 22:1-22 :

A. ヨベルを表徴する祭りは、まず旧約における過越の祭りであり、次に新約における主の食卓です——出 12:1-36. ルカ 22:15-20。

B. 主の食卓は、過越の祭りに置き換わって継続していますが、この新約の祭りでさえ、完全には成就されてきませんでした—— 15-20 節 :

1. 主の食卓の祭りは、来たるべき王国において完全に成就されるでしょう——マタイ 26:29. ルカ 14:15. 22:16, 18, 29-30。
 2. 主の食卓の新約の祭りは、来たるべき王国における祭りによって置き換えられ、継続されるでしょう——マルコ 14:22-25。
- C. 三つの祭りがあるのではなく、三つの時期（旧約の時期、新約の時期、王国の時期）における一つの祭りです。王国における祭りは、過越の祭りと主の食卓の祭りの成就となります——ルカ 22:29-30。
- D. 「主の御名の中で来られる方は、ほむべきかな！」、彼は千年王国でヨベルの享受をもたらします。また「神の王国でパンを食べる者は幸いです」—— 13:35. 14:15。
- III. ヨベルの生活は、ヨベルの中で生きる生活です—— 4:18-21. ヨハネ 6:57. ガラテヤ 2:20. エペソ 3:16-17 前半. ピリピ 1:19-21 前半：**
- A. ヨベルを生きることは、キリストを享受する中で生きることです—— 4:4。
 - B. ヨベルの中で生きる生活は、神を生きる生活です——ヨハネ 6:57：
 1. これは、わたしたちが神をわたしたちの存在の主要な内なる要因とする生活です——詩 73:25。
 2. これは、わたしたちが神を他のものに代わってわたしたちの享受とし、あらゆる状況の中で神ご自身だけを享受する生活です——ピリピ 3:1. 4:4, 10-13。
 - C. わたしたちは天然の命の中に生きている限り、ヨベルの中にいません——ルカ 9:24, 57-62. 14:26-35. 22:31-32。
 - D. 実際的にヨベルの中に生きようとするなら、キリストにわたしたちの中で生きていただかなければならず、また彼を生きなければなりません——ガラテヤ 2:20. エペソ 3:16-17 前半. ピリピ 1:19-21 前半。
 - E. 使徒第 27 章と第 28 章で、使徒パウロはヨベルの生活をしました：
 1. これは、最高水準の人性の美德が最も卓越した神聖な属性を表現する生活、主ご自身が地上で生きた生活に似た生活でした——ヨハネ 6:57。
 2. これは、神性によって豊かにされた人性の中で再び生きたイエスでした——ピリピ 1:21 前半。
 3. これはすばらしい、卓越した、奥義的な神・人が、使徒行伝で、彼の多くの肢体の一人を通して生き続けることでした——ガラテヤ 2:20。
- IV. 使徒行伝でヨベルの享受と増殖を見ます—— 1:8. 2:46-47. 4:33. 5:41. 7:56, 59-60 前半. 8:4-5, 8, 39. 13:52. 15:3. 16:25, 31, 34. 17:6 後半：**
- A. 「あなたがたは……エルサレムにおいても、ユダヤ全土とサマリヤにおいても、また地の果てまでも、わたしの証し人となるであろう」—— 1:8。
 - B. 「また日ごとに……家から家でパンをさき、歡喜して純真な心で食物にあずかり、神を賛美し……そして、主は救われる人たちを、日ごとに仲間に加えられた」—— 2:46-47。
 - C. 「こうして、散らされた人たちは、その地を歩き巡って、御言を福音として宣べ伝えた……それで、その町には大きな喜びがあった」—— 8:4, 8。
 - D. 「世界をひっくり返してきた者たちが、ここにも来ました」—— 17:6 後半。